

古註より板ハ餌板とくをわきとくを屋よ入る物也と云
古写本の註ゆを忍たるの事也と云武用辨略ハ泥板を
俎ニイタの事也故に餌作板とも云長サ二尺廣サ八寸高サ四寸
五分或ハ長サ八寸又ハ一尺二寸廣サ五寸木ハ梨又ハ桑等を
用ふ口傳ものとせしむ

みゆゆ板と云ふもわきとくをぬきゆりとの意

巢まづりの鷹も毛羽大方とゆふとくが一つ飛ともわき
さでハわきとく也わきセバ巢鷹也巢鷹は時中を
もぐれハ巢まづりと云ふ成也巢子ハとくをゆりハ當分
巢の近所は居りの也それをとくをわきとくをわき八十八夜を